



本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>

SSH <https://ssh.jst.go.jp/>

全国生徒研究発表会 ミミズ研究班が参加してきました

SSHの全国生徒研究発表会が8月9日（水）・10日（木）、神戸国際展示場で開催されました。全国から203校のSSH校と3校の経験校、及び海外招へい25校が一堂に会して研究発表を行いました。本校からは3年生ミミズ研究班5名が参加し、ポスター発表を行ってきました。メンバーは2人1組でチームを作り、2日間の発表時間を休まずに全て発表し、多くの高校生や大学教授と意見を交わしてきました。

来年度参加するグループも是非他校の生徒との交流を楽しんでもらえればいいと思います。



3A 土佐菜奈実

どの高校もレベルが高く、おもしろい研究をしていた。発表の工夫がたくさんあって学ぶことが多く、とてもいい経験になった。自分たちで実験装置を作っていたり、実験に失敗したときや仮説が間違っていたときに自分たちで新しい意見を出していたりしているところがすごいと思った。自分たちの発表は考察が無理矢理だったために突っ込まれることが多く、あまり伝わりやすい発表ではなかったと反省している。来年度参加する人たちには頑張りたい。

3A 松浦唯

全国の高校生の発表を見てレベルの高さにとても刺激を受けた。発表して大変だったところは、実験の内容よりも動機などの根本的なところに関する質問だ。実験についての質問は対策をしていたため問題なかったが、動機についての意味づけが弱かった。講評では先行研究や文献調査の大切さについて繰り返し言われていた。圧倒されることが多かったが自分たちにとっては良い刺激となり、もっと研究でも行動面でもレベルアップしていきたいと思った。

3A 岸野菜々子

全国大会で発表して、他校の研究レベルの高さに驚いた。研究発表ではそれぞれ工夫を凝らしており、尚且つわかりやすい発表だと感じた。また、海外の生徒も来ており、英語での発表も聞くことができた。その発表を聞いて自分の英語力の無さをより痛感させられた。これらのことから、来年参加する人たちは、如何にわかりやすく自分たちの研究を伝えるかということと、英語力を上げることの2つをがんばって欲しいと思った。

3A 成田帆香

全国の研究レベルの高さに驚き、実感した。自分なりに研究を理解していたが、違った視点から来る質問になかなかうまく答えられなかった。発表はしっかりできていたと思うので、質問の受け答えが課題だった。他校の研究発表も聞いて、私たちのグループにない良さをたくさん見つけて吸収できた。どこを指して説明するのか、どのように説明すれば分かってもらえるのか考えて発表するのがとても大変だった。この研究発表会で得た経験をいろいろな場面で活かしていきたい。

3A 成田陽香

全国大会では、実験の方法や考察などに鋭い質問がされ、答えるのが大変だった。しかし、たくさんアドバイスをもらうことができたので良かった。他の学校の発表を聞きに行ったが、みんな自身を持って話しているところに驚いた。その姿を見習いたいと感じた。全国や海外の高校の生徒と意見交換できる機会はなかなかないのでとてもいい経験になった。来年の人たちにも頑張ってもらいたい。